

平成29年度

児童・生徒数および学級数の推計をお知らせします

図市教育委員会企画管理課学区改編推進室 ☎26・5627

市教育委員会では、教育行政に関する諸施策の基礎資料として、就学している児童・生徒数や通学区域ごとの出生数をもとに、今後6年間の小中学校の児童・生徒数および学級数を推計した「教育人口統計」を作成しています。

推計の概要（小中学校別児童・生徒数、学級数の推計）参照

5月1日現在の児童・生徒数は、小学校が4千819人、中学校が2千773人です。これに対し、6年後の平成35年の小学校の児童数は、約14・6割減少し、4千15人になり、学級数も18減少し、4校で複式学級が見込まれています。また中

学校の生徒数は、約14・1割減少し、2千383人になり、学級数が9減少する見込みです。



●小中学校別 児童・生徒数、学級数の推計（教育人口統計を基に作成。網掛けは複式学級）

		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度		平成35年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
小学校	琢成小	180	7	184	7	160	6	151	6	152	6	149	6	160	6
	浜田小	218	8	205	8	208	7	212	7	199	7	194	6	182	6
	若浜小	312	12	308	12	317	12	322	12	330	12	325	12	303	12
	富士見小	391	15	391	15	392	15	378	14	364	13	341	12	340	12
	亀ヶ崎小	468	18	464	17	455	17	460	17	460	17	467	17	450	17
	松原小	577	20	557	20	541	20	533	19	537	19	528	18	529	18
	松陵小	288	11	291	11	280	11	263	11	234	10	224	8	213	8
	泉小	352	13	336	12	347	12	338	12	333	12	344	13	328	13
	飛鳥小	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	西荒瀬小	110	6	112	6	116	6	124	6	122	6	123	6	124	6
	新堀小	81	6	71	6	72	6	63	6	63	6	56	5	46	5
	広野小	91	6	89	6	80	6	70	6	68	6	62	6	49	6
	浜中小	66	6	61	6	62	6	61	6	64	6	61	6	54	6
	黒森小	39	4	39	4	37	4	32	4	29	4	35	4	34	4
	十坂小	214	6	214	7	208	7	200	6	197	6	187	6	182	6
	宮野浦小	376	13	378	14	388	14	380	14	356	14	334	13	324	13
	平田小	178	6	169	6	159	6	159	6	147	6	144	6	148	6
	鳥海小	200	6	185	6	179	6	160	6	145	6	142	6	132	6
	一條小	86	6	80	6	71	6	68	5	68	5	58	5	62	5
	八幡小	165	6	158	6	150	6	147	6	136	6	126	6	118	6
	松山小	136	6	139	6	134	6	114	6	109	6	114	6	113	6
田沢小	27	4	25	3	24	3	23	3	25	3	22	3	21	3	
南平田小	264	9	244	9	238	9	235	9	216	8	200	6	203	6	
合計	4,819	194	4,700	193	4,618	191	4,493	187	4,354	184	4,236	176	4,115	176	
中学校	第一中	402	13	362	12	372	13	367	13	377	13	351	12	320	11
	第二中	334	11	322	11	309	10	309	10	302	10	297	10	305	11
	第三中	544	18	536	17	526	17	518	17	529	18	521	18	532	18
	第四中	532	18	509	17	469	16	445	15	433	15	430	15	419	15
	第六中	409	13	393	13	363	12	360	12	364	12	398	13	391	13
	飛鳥中	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥海八幡中	267	9	263	9	246	9	240	9	232	9	225	9	212	9
	東部中	284	11	264	10	233	9	227	9	221	9	226	9	204	8
合計	2,773	94	2,650	90	2,518	86	2,466	85	2,458	86	2,448	86	2,383	85	

・平成29年度分は、学級編制表（平成29年5月1日）による。・平成30年度以降の推計は、29年度学級編制の数字に住民基本台帳（平成29年3月31日現在）の人数を加味して算出。・学級数は、国の少人数学級制度の現状維持および教育山形「さんさん」プランの継続を前提に算出。・特別支援学級の学級数は加味しないで算出

学校規模に関する基本方針

変化の激しい社会に対応できる力を身に付けるため、子どもたちは、多様な考えに触れ、認め合い、

協力し、切磋琢磨しながら資質や能力を伸ばしていくことが大切であり、そのためには、一定の学校規模の確保が必要です。

子どもたちのより良い教育環境を整備するため、市民や有識者で構成される小・中学校学区改編審議会の答申を受けて「酒田市立小・中学校の学校規模に関する基本方針」を定めています。

今後も、地域の実情を踏まえ、保護者や地域の方々、学校と協力しながら、より良い教育環境を目指していきます。

酒田市立小・中学校の学校規模に関する基本方針
(平成19年2月26日)

- 学校規模に関する基本的な考え
 - (1)小学校、中学校の標準学校規模は12～18学級
 - (2)複式学級の解消に努める
 - (3)過大規模校（31学級以上）は設置しない
- 当面存続する規模
 - (1)小学校
 - ①学校規模／児童数100人程度以上を確保
 - ②学級規模／1学級15人程度以上を確保
 - (2)中学校
 - ①学校規模／生徒数270人程度以上を確保
 - ②学級規模／1学年3学級以上を確保
- 配慮事項

学区の改編を進める際は、地域住民と十分な時間をかけて話し合い、理解と合意のもとに進める。